

放課後等デイサービス あいさんキッズ自己評価表

記入者: 河野 竜一

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10名定員の空間であるが、人員が増えると動きにくくなるので、机椅子など人数に応じて調整している。(工夫)
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	○			車椅子専用リフト付車両にて送迎対応している。館内は、車椅子の利用者や足元が不安定な方に対しての移動は、エレベーター対応している。(工夫)
業務改革	4	業務改善を進めるためのPCDAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	○			
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			1年間を振り返る意味で利用者の家族様宛てに「評価表」の記入を依頼している。(工夫)
	6	この自己評価表の結果を事業所の会報等で公開しているか			○	結果をまとめて掲示していく。(改善)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	検討課題とする。(改善)
	8	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	○			職員会議時に研修会を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			制作、集団ゲーム、音楽活動を中心に行っている。制作については、カレンダー作り、月毎の歌詞カード作り。集団ゲームでは、ボール回し、魚釣りゲーム等。音楽では、季節の歌や友だちの好きな音楽を聴く等(工夫)
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			季節感のあるものを考案している(工夫)
	13	平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日 前半:個別活動 後半:集団活動 長期休暇 午前:個別活動 午後:集団活動
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	○			担当者会議時や家庭へ訪問し、家族に聞き取り、その事を元に職員と話し合い、計画書に反映している(工夫)
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用者来所前に送迎担当、利用者担当、支援内容の確認している
	16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	当日は、シフトの都合により打ち合わせ出来ないで、翌日の利用者来所前に振り返りを実施している。(工夫)
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			タブレットにて記録入力し、連絡ノートを作成。支援後は、記録確認している(工夫)
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断しているか	○			短期目標に応じて、3ヶ月ないし6ヶ月後に実施している(工夫)
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			
20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			相談支援専門員、家族、学校の先生	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			文化祭、運動会などの行事や午前中授業の日について、予定表を頂き、対応している。	

適切な支援の提供	22	医療的ケアの必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当者はいない。導尿対応者はいるが、家族(母親)対応している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		海津市内、安八町内の児童発達支援事業所と情報共有している(工夫)
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	来春にならないと該当者が現在いないが準備はしている。(工夫)
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		催し物やケース検討会等に参加(工夫)
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		地域「すみれの会(クリスマス会、七夕まつり)、なのはな講座(電車に乗って養老公園へ、小物作り、クッキング教室など)」に参加
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	海津市にあるのは、生活介護と就労部会のみ
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	なのはな講座で「ペアレント・トレーニングの研修会」があり、9月から第2.4火曜日の午前中に開催予定。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っているか	○		契約時に保護者(家族)に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		家庭への訪問や送迎時、連絡ノートを通じて、訪問時、電話にて対応。
	32	父母の会の活動を支援したり、通所家族会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	2ヶ月に1回通所家族会を開催しており、案内文を届けているが、仕事の都合などで出席出来ていない現状。但し、学校や地域のイベント時は連携している(工夫)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子ども保護者に周知し、苦情があった場合に迅速且つ適切に対応しているか	○		苦情対応者を配置している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		広報誌「燐めき」の掲載や行事があった場合は、ホームページの記載をしている(工夫)
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		ことば以外で絵カードを中心にジェスチャーでの挨拶などで対応している。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		○	10月21日(土)地域の方を交えて秋祭り「燐めき祭」を開催予定(改善)	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		契約時に説明対応している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	8月25日(金)避難訓練を実施予定。「避難口、避難場所を確認」(改善)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止、身体拘束廃止委員会を発足。各職員に対して「虐待防止チェックリスト」を配布して各自チェックをして見直しをする。(工夫)
	41	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分説明をして了解を得た上で個別支援計画(放課後等デイサービス計画)に記載しているか		○	該当者無し
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の提示書に基づく対応がされているか		○	該当者無し
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ファイルに綴じている。